

## 花き商品査定会・研修会を開催

種子屋久農協花き振興会は、レザーリーフファンの生産を行う若手生産者を対象に、商品査定会および視察研修を実施しました。

生産に従事してから約3年以内の生産者3名が参加し、福岡花市場および久留米花市場を訪問。セリの様子や花きの流通過程について研修するとともに流通するレザーリーフファンの多くを占めるインドネシアやメキシコからの輸入品との比較や競合する葉物花きとの商品査定も行いました。



参加した日高竜也さんは、「輸入品が多く流通しているが、商品性の高さは種子島産が群を抜いているという意見もあり、強いニーズを感じた。引き立て役として種子島レザーリーフファンでなければならないという意見を聞いたので、もっと頑張るって生産したい。」と意欲を語りました。

## J A種子屋久年金友の会 ゴルフ県大会に参加

10月10日、JA種子屋久年金友の会は溝辺カントリークラブで行われたゴルフ県大会に参加しました。

8月に行われた予選大会を勝ち抜いた8名が参加しました。参加者は素晴らしい環境の中で、一人一人プレーを楽しみながら優勝を目指しました。

大会の結果は、JA種子屋久Aチームが団体の部で昨年3位の記録を更新し、2位という好成績を収めました。



## 花き若手生産者研修を開催

種子屋久農協花き振興会は、園芸振興協議会種子島支部と合同で、新規・若手花き生産者向けの研修会を10月7日に開催しました。

10名ほどが参加した研修では、管内にあるベテラン生産者の利川広樹さんの圃場にて、施肥や灌水、ビニールや遮光資材の被覆時期について学んだあと、種子屋久農協本所にて秋から冬にかけての栽培管理や施肥について学びました。



同花き振興会の片板一郎会長は「若手生産者が頑張ってくれることで活気も出る。今後も研修や各種活動を企画し、産地全体を盛り上げていきたい」と話しました。

